



▲ 3月21日～23日まで「おばま落語まつり」が開催。1日目の全国アマチュア落語大会には16人が出演(文化会館・3月21日)



▲市と株式会社ママーズとの間で、災害時の生活物資の供給協力について協定を締結(市役所・3月25日)

市が初めて公募した「地域おこし協力隊員」に、宮城県名取市出身の相澤弘美さん(37歳)が採用されました。地域おこし協力隊員は、市の地域資源を外部目線で検証し、地域資源を生かした観光プログラム、ツアープランなどの企画・開発・情報発信などに取り組みます。

辞令交付の後、市長との面談で「観光客と地域の人交流できるようなイベントを企画できれば」と抱負などを語りました。任期は1年。(最長3年まで継続可)



▲松崎市長との面談で、小浜のまちの印象や今後の抱負などを語る相澤さん(市役所・4月1日)

小浜の宝を掘りおこし



▲キララメイッツ引継式で笑顔で抱負を述べる松尾さん(右)と、伊達さん(市役所・4月9日)

平成26年度「若狭おばまキララメイッツ」に任命されたのは、松尾ひとみさん(23歳・福邦銀行小浜支店)と伊達冬菜さん(20歳・ホテルせくみ屋)です。

松尾さんは、「小浜の良さを多くの人に伝えたい」と意欲を示し、伊達さんは、「自分も学びながら、笑顔でPRしたい」と抱負を述べました。

二人は来年3月まで、市内外のイベントなどに参加して、小浜の魅力をPRしていきます。

本年度のキララメイッツが決定

5 | 2014
May

4/13 「食」でツナガル!



食文化館(川崎三丁目)で、「第1回ツナガル・マルシェ」が開催されました。このイベントは、全国の若手農業者の交流と、生産者・消費者をつなげることを目的に、県青年農業者クラブ連絡協議会が初めて企画。会場では、全国各地の農産物の販売や、野菜や果物を使った新しいグルメの販売などが行われました。

3/30 新登場の健康体操 みんなで踊ろ



健康管理センター(南川町)で、食生活改善推進員連絡協議会(すこやか会)が、オリジナル体操「みんな笑顔で」を初披露しました。朝食をとることや、バランス良く食べることなどを表現したこの体操は、正しい食生活と運動の普及を目的に作られました。今後は、市内の料理教室などを通じて普及させていく予定です。

4/6 だるま窯を次の世代へ!



かつて市の伝統産業だった若狭粘土瓦を焼いた「だるま窯」の保存上屋竣工記念式典が上中井区で行われました。地域住民らで作る「若狭だるま窯を守る会」が、窯を雨風から守る上屋を整備しました。式典で、同会の辻井晴一代表(66歳・口田縄)は、「産業遺産として次世代へ引き継ぐことが我々の責任」と、決意を述べました。

4/15 郷土の偉人をしのんで



小浜公園(青井)で、佐久間艇長顕彰祭が行われました。これは、潜水艇事故で命を落とした郷土の偉人・佐久間勉艇長の遺徳を後世に伝えようと、市と歴史と文化を守る市民の会が毎年開催。出席した在日米海軍副司令官のマイク・コールマン大佐は、「佐久間大尉の勇敢さと人間性は士官としての模範」と、スピーチを送りました。